



「米づくりボランティア」。毎年5年生を対象に、手で植える田植え体験が行われる。



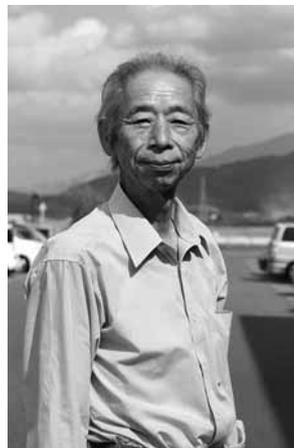
給食後の歯みがきを指導する「歯みがきボランティア」。大きな歯の模型を使って磨き方を教えている。



気持ちさえあれば 誰でもできます

2年前から学校支援ボランティアに参加しています。月4回ほど学校に足を運んで「傾聴」、「丸つけ」、夏場はグリーンカーテンの「野菜植え」を行っています。

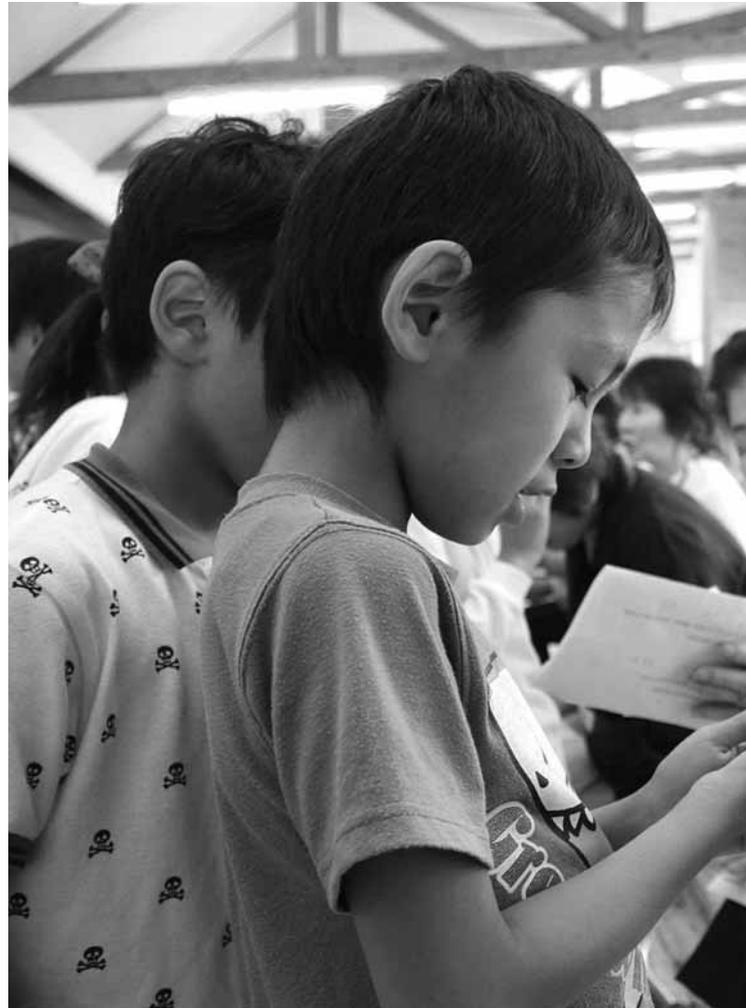
以前民生委員をしていた関係で傾聴ボランティアに参加するようになりましたが、委員を退いた今でも毎回楽しくさせてもらっています。通っているうちに子どもたちも顔を覚えてくれて、親しみをもってくれます。先生や親とはまた違う立場の人が入ることで子どもにも私たちにも良い影響があると思います。



さの けいいちろう
佐野 啓一郎 さん
(福 原)

短い授業時間でも、解いた問題にすぐ丸をつけてあげられる丸つけボランティアは、子どもたちの喜ぶ顔や悩む顔を目の前で見る事ができます。自分の孫と一緒に一喜一憂しているようでごく感動しますね。

「子どもたちのために何かしてあげたい」という気持ちさえあれば、どなたでもできます。



覚えた九九を聴いてあげる傾聴ボランティア



ボランティアのみなさんの前に駆け寄り、九九を暗唱する子どもたち。1回の授業で約10人のボランティアが参加するので、子ども一人一人に対応できる時間が増えている。ボランティアの活動は顔と顔を見合わせて行われるので、子どもたちも、ボランティアのみなさんも、自然と笑顔に。